

平成27事業年度

決算報告書

自 平成27年4月 1日

至 平成28年3月31日

公立大学法人 九州歯科大学

1 収支計画

(単位:百万円)

区分	予算額(a)	決算額(b)	差額 (b)-(a)	備考
費用の部	3,435	3,370	▲ 65	
経常費用	3,435	3,358	▲ 77	
業務費	3,160	3,076	▲ 83	
教育研究経費	389	369	▲ 20	(注1)
診療経費	649	658	8	
受託研究費等	27	6	▲ 21	(注2)
人件費	2,093	2,042	▲ 50	(注3)
一般管理費	272	277	4	
(減価償却費 再掲)	(133)	(139)	(6)	
財務費用	2	2	▲ 0	
雑損	—	1	1	
臨時損失	—	11	11	
収益の部	3,444	3,453	8	
経常収益	3,444	3,451	7	
運営費交付金収益	1,657	1,672	14	(注4)
授業料収益	400	398	▲ 2	
入学金収益	62	63	0	
検定料収益	10	10	▲ 0	
その他業務収益	—	1	1	
附属病院収益	1,056	1,068	12	
受託研究等収益	14	6	▲ 7	
補助金等収益	89	70	▲ 18	(注5)
寄附金収益	14	21	6	
資産見返運営費交付金等戻入	6	7	1	
資産見返補助金等戻入	53	54	1	
資産見返寄附金戻入	10	10	▲ 0	
資産見返物品受贈額戻入	12	12	▲ 0	
財務収益	0	0	0	
雑益	53	53	▲ 0	
臨時利益	—	1	1	
当期純利益	8	82	74	
当期総利益	8	82	74	

(注記) 記載金額は百万円単位とし、表示単位未満については切り捨て表示しています。

○予算額と決算額の主な差異について

- (注1) 教育研究経費については、主として、予算では受託研究費等に計上されていた奨学寄附金が決算では教育研究経費に9百万円計上されているものの、水道光熱費が9百万円減少したこと、及び学長重点枠研究費が15百万円執行されなかったことにより、予算金額に比して20百万円減少しました。
- (注2) 受託研究費等については、主として、予算では奨学寄附金12百万円を受託研究費等として計上していたが決算では教育研究経費に計上していること、及び受託研究等収入が8百万円減少したことに伴い受託研究費等が同額執行されなかったことにより、予算金額に比して21百万円減少しました。
- (注3) 人件費については、主として教員人件費が21百万円減少及び職員人件費が29百万円減少したことにより、予算金額に比して50百万円減少しました。
- (注4) 運営費交付金については、主として運営費交付金の交付決定額の変更に伴い収入が11百万円増加したことにより、予算金額に比して14百万円増加しました。
- (注5) 補助金等収益については、主として、予算では大学間連携事業の分担金11百万円及び協力型施設への臨床研修費11百万円を計上していたが、決算では補助金等収益に計上されないため、予算金額に比して18百万円減少しました。

平成27年度 決算報告書

2 資金計画

(単位:百万円)

区分	予算額(a)	決算額(b)	差額 (b)-(a)	備考
資金支出	3,341	3,240	▲ 100	
業務活動による支出	3,294	3,193	▲ 100	(注1)
投資活動による支出	18	16	▲ 2	(注2)
財務活動による支出	29	30	1	
資金収入	3,364	3,359	▲ 4	
業務活動による収入	3,364	3,359	▲ 4	
運営費交付金収入	1,660	1,672	11	(注3)
授業料収入	400	398	▲ 2	
入学金収入	62	63	0	
検定料収入	10	10	▲ 0	
附属病院収入	1,056	1,067	11	(注4)
受託研究等収入	14	6	▲ 8	
補助金等収入	89	73	▲ 15	(注5)
寄附金収入	14	14	▲ 0	
その他の収入	53	52	▲ 0	
投資活動による収入	0	0	0	
財務活動による収入	—	—	—	

(注記) 記載金額は百万円単位とし、表示単位未満については切り捨て表示しています。

○予算額と決算額の主な差異について

(注1) 業務活動による支出については、主として教育研究経費が65百万円減少及び人件費が50百万円減少したことにより、予算金額に比して100百万円減少しました。

(注3) 運営費交付金収入については、運営費交付金の交付決定額の変更に伴い、予算金額に比して11百万円増加しました。

(注5) 補助金等収入については、主として、予算では大学間連携事業の分担金11百万円及び協力型施設への臨床研修費11百万円を計上していたが、決算では補助金等収入に計上されないため、予算金額に比して15百万円減少しました。

○キャッシュ・フロー計算書の額と決算額の主な差異について

(注1) 業務活動による支出の決算額は、キャッシュ・フロー計算書の額3,191百万円に、当期末未払金307百万円を加算し、前期末未払金305百万円を減算して算出しています。

(注2) 投資活動による支出の決算額は、キャッシュ・フロー計算書の額38百万円に、当期末未払金1百万円を加算し、前期末未払金24百万円を減算して算出しています。

(注4) 附属病院収入の決算額は、キャッシュ・フロー計算書の額1,087百万円に、前期末未収入金157百万円を減算し、当期末未収入金138百万円を加算して算出しています。